



ニューロノード

つながる自由を、すべての人に。



世界で唯一のウェアラブルデバイス

CONTROL
BIONICS



ニューロノードの特徴

筋電(EMG)・空間座標・眼電(EOG)

3つのモードで疾患を問わず

コミュニケーションをサポートします



筋電を使用し
入力スイッチに変換

身体の様々な場所に取り付け可能
顔、指など微細な動きを捉える
スイッチ（マウス）として
iPadの操作を可能にする



ワイヤレス、軽い、簡単

無線で軽量（約30g）
自由な姿勢で使用出来る
設定が簡単
介助者の負担軽減
買い換える必要がない



状況に応じて
モードを変更できる

筋電、空間、眼電3つの
モードに変更可能
意思伝達パネルを搭載
瞼を閉じていても眼球の
動きを捉え、スイッチに
変換できる



ニューロノードは、神経疾患や脊髄損傷などで動きに制約のある方々のために設計された革新的なウェアラブルデバイスです。

このデバイスは、筋電、空間座標眼球の3つのモードを備えており、ユーザーの体の動きに応じて最適なモードを選ぶことができます。

微細な動きや不随意的な動きにも対応でき、さまざまな疾患に適応可能です。

iPadにBluetooth接続するため、外出先でも簡単に利用できます。

また、どんな体勢でも使用が可能です。

メール、インターネットアプリ、SNSゲーム、学習など、幅広い年齢の方に、さまざまな使い方を実現します。

新機能である意思伝達パネルは、ニューロノードコントローラーアプリの音声出力とスイッチ機能を組み合わせて利用します。音声出力メニューをタップすると、アプリは「はい」「いいえ」「わかりません」の3つの音声オプションを自動的にスキャンします。その後、ユーザーはニューロノードのスイッチ機能を使って、希望する回答を選択できます。このように、ニューロノードはユーザーのQOLと学習・趣味・コミュニケーションの世界を広げることが可能になります。

専用のシールで
どこにつけても操作できます。
フィッティングも簡単！軽い！
姿勢も自由！
車椅子でもベットでも。



まばたきで操作



手首の動きで



眉の動きで



足の動きで



腕の動きで

意思伝達パネルを搭載



ニューロノードは日常生活用具
(情報通信支援用具・携帯用会話補助装置)
で多数の支給実績があります。
ご希望の場合はお住いの市区町村
自治体に申請条件などご確認ください。
導入前にお試しをされる方は
有料レンタルプランをご利用ください。
レンタルでお支払いいただいた金額は
ご購入時に代金より相殺いたします。

製品内容

- ・ニューロノード本体
- ・電極キット（再利用可能3点ウェハ電極）
- ・ニューロノードバンド 手首用 9インチ
- ・ニューロノードバンド 脚用 14インチ
- ・リード線アダプター
- ・充電キット
- ・専用ケース
- ・付属品ポーチ
- ・取扱説明書
- ・保証書

基本仕様

製品名	NEURONODE
型番	JP-NNCB
外形寸法	直径4.5cm 高さ1cm
重量	27g
無線通信機能	Bluetooth
言語	日本語・英語・フランス語

ニューロノード筋電スイッチ本体・付属品
合計販売価格：45万円（税別）

Control Bionics Ltd. 会社概要

コントロールバイオニクスリミテッドは、2006年に米国とオーストラリアの専門家との共同研究を基に設立されました。2016年にはスティーヴン・ホーキング博士の協力を得て、米国特許とFDA認証を取得し、ニューロノードをリリースしました。

現在、障害者向けのニューロノードや医療ソリューションを提供し、オーストラリアのメルボルンに本社、米国オハイオ州に開発拠点を持っています。

2020年にオーストラリア証券取引所に上場し、2023年9月から日本でもニューロノードの提供を開始しました。



(中央:ホーキング博士との開発風景)

本社：オーストラリア メルボルン

支社：カナダ, 日本

開発拠点：アメリカ オハイオ州

事業内容：筋電測定装置専門メーカー

ユーザー数：3,000名

2006年 設立

2020年 オーストラリアシドニー証券取引所上場

2023年 日本進出

CONTROL BIONICS

Control Bionics Limited

コントロールバイオニクス日本支社

〒107-0052

東京都港区赤坂2-23-1-Rop806

カスタマーサービス 050-7103-7257

ニューロノードの沿革

10年以上の開発期間を経て、2016年にリリースされました。このプロジェクトはホーキング博士との共同開発によるもので、世界で唯一のウェアラブルモバイル筋電測定装置です。最先端の技術が凝縮されており、継続的にアップデートされています。また、米国FDAの承認を受け、米国特許も取得しています。



詳細は当社ホームページをご覧ください

<https://controlbionics.co.jp>

